

日本看護歴史學會 會報

日本看護
歴史学会
第82号
2024年7月15日

日本看護歴史学会第38回学術集会のご案内

未来に向けて歴史を繋ぐのは今

日 時：2024（令和6）年8月11日（日・祝）・12日（月・振替休日）
会 場：天理大学杉之内キャンパス（ふるさと会館・2号棟）
学術集会長：屋宜 譜美子（天理大学）



屋宜譜美子 学術集会長

歴史ある奈良・天理で、「今」、看護の未来に向かって共に一歩前へ！

第38回を数える学術集会ですが、医療、福祉、看護の歴史ある奈良での開催は初めてのことです。令和4年4月の日本看護歴史学会理事会で第38回日本看護歴史学会学術集会の集会長が承認されてから2年、どのような学術集会とするかを構想し開催に向かって取り組んでまいりました。現在、天理大学医療学部をはじめ学会員の方々、実習病院看護部の方々、看護界で長くお付き合いいただいているの方々など、企画委員・実行委員と共に準備を進めております。

世界では長引く戦争あるいは緊迫した臨戦状態が多発し、国内においては大規模災害、大規模な事故が起きてたくさんの人々が命の危機にさらされておられます。こうした時代に看護がなしえること、取り組むことを今一度確かめ、行為として具現化していくことが求められています。

本学術集会では、参加者の皆様それぞれが歴史を通して、今を、未来を見据える視点を見出す機会となることを願いプログラムを構成しました。プログラムの詳細をご覧ください、看護歴史に関心をお持ちの方々、これからの看護を創る皆様のご参加をお待ちします。

この機会に東大寺、春日大社、東福寺、法華寺、西大寺など、日本の医療・福祉のはじまりの地に立たれる機会にしていだければと思います。また、創立100年を迎える天理大学の附属施設にも触れていただきたいと思います。約30万点にも及ぶ世界の生活文化と考古美術を収蔵する天理参考館は、学術集会期間中無料で入館いただけます。残念ながら閉館中で内部のご案内できませんが、天理図書館は登録有形文化財登録された見事な建築物です。「やまとのふみくら」と呼ばれて、国宝を含む希少古文書等150万冊を蔵する建物を休憩時間にでもご覧いただきたいと思います。

本学術集会が皆様と共に未来の看護を展望できる機会となりますことを願いつつ、鋭意準備にあたってまいります。天理の地でお目にかかれることを楽しみにお待ちしております。



<https://www.tcl.gr.jp/> 天理大学附属天理参考館



https://www.tcl.gr.jp 天理大学附属天理図書館

日本看護歴史学会第38回学術集会プログラム

1日目		日程表 8月11日 (日曜日)						
ふるさと会館		2号棟						
		2階		3階		4階		
		22A	22B	23A	23B	24A		
9:00	9:00~9:20 開会式	総合受付 クローク 総会事務局	一般演題 (ポスター)	講演1 高齢者の“食べる”を支える 演者：石垣靖子 講演2 在宅高齢者配食の役目、お弁当を通じて健康寿命の伸長・予防医療につなげる 演者：高橋 洋				
10:00	9:30~10:30 大会長講演 演者：屋宜譜美子 座長：春日広美							
11:00	10:40~12:00 記念講演 確かな看護の軸足を未来につなぐ 演者：川嶋みどり・茂野香おる・内山孝子・河合桃代 座長：屋宜譜美子							
12:00	クローク 運営時間 8:30~16:30						12:00~13:00 ランチョンセミナー 共催：株式会社シニア ライフクリエイト	
13:00	13:00~14:30 市民講座1 伝統の技手漉し和紙や陀紙 6代目から7代目につなぐ 演者：福西正行 福西安理沙 司会：屋宜譜美子						13:00~14:30 一般演題口演1 O1-01~04 座長：大田容子	13:00~14:30 理事会セッションI 戦争と看護 ガザ地区での 人道支援を通じての 看護師の経験 演者：川瀬佐知子 座長：川嶋みどり 川原由佳里
14:00	14:40~16:10 市民講座2 上映と講演 語り続ける人たち ~1945年戦争の記憶 演者：後藤サヤカ 司会：屋宜譜美子						14:40~16:10 一般演題口演2 O2-01~04 座長：熊谷恵利子	14:40~16:10 理事会セッションII 研究推進委員会・ 特別委員会 看護歴史研究を未来 につなぐ 演者：鈴木紀子 座長：滝内隆子 岡山寧子 小川典子
17:00	16:30~17:45 会員総会							

2日目		日程表 8月12日 (月曜日)					
ふるさと会館		2号棟					
		2階		3階		4階	
		22A	22B	23A	23B	24A	
9:00	総合受付 クローク 総会事務局	クローク 運営時間 8:30~13:30	一般演題 (ポスター)	9:00~10:30 交流セッション1 手とお湯のケアを未来につなぐ「清拭 深遠なる技をどう伝えるか」 演者：澁谷 幸・田口千里 小川朋子・大田容子		9:00~9:45 教育講演1 ジャンジャン火の 民俗学的研究 演者：齋藤 純	
10:00				9:45~10:30 教育講演2 スピリチュアルケアと 看護・医療の交点 演者：山本佳世子			
11:00				10:40~12:10 一般演題口演3 O3-01~04 座長：徳島佐由美		10:40~12:10 交流セッション2 手とお湯のケアを 未来につなぐ 「気持ちのよいケア 熱布バックケア」 演者：茂野香おる 内山孝子	10:30~11:15 教育講演3 天理教による医療・教育・福祉の 諸実践の歴史から見えてくるもの 演者：深谷弘和
12:00							11:20~12:10 パネルディスカッション 地域・学問・職種をつなぐ 司会：鈴木紀子
13:00							12:20~12:40 閉会式

★ 8月11日~8月12日 天理大附属参考館 (無料) 開館時間：9:30~16:30 随時ご見学ください。

参加登録について

■参加登録及び事前申込期間：2024年3月1日(金)～7月22日(月)迄 それ以降は当日受付となります。

参加費	会員	非会員	大学院生	学生
事前申込	8,000円	10,000円	—	—
当日受付	10,000円	12,000円	2,000円	無料

参加登録と参加費支払いは、学術集会のホームページの所定の様式から申込みをして下さい。

申し込まれた方には、領収書がメールで配信されます。参加証は当日受付でお渡しします。

*学生・大学院生は当日学生証をご提示の上、受付にてお申込みと参加費のお支払いをお願いします。

*講演集について 事前参加登録された方には、学術集会前（7月下旬頃）に郵送予定です。

第38回日本看護歴史学会学術集会事務局：<https://www.jsnh38.com/>

問い合わせ先・会場住所：〒632-8510奈良県天理市杣之内町1050 天理大学杣之内キャンパス
(ふるさと会館・2号棟) E-mail：38thjsnh@gmail.com

【会場へのアクセス】

○交通情報：天理駅（JR・近鉄）からの交通経路：自家用車の駐車場はございません。以下をご利用ください。①徒歩30分 ②特別チャーターバス天理駅（近鉄・JR総合駅）⇔大学 有料：片道¥220（運用時間については学術集会HPでご確認下さい）③天理駅構内タクシー（営業台数制限あり大学まで料金1,200円前後）

○昼食：学会会場付近にコンビニ、飲食店はございません。各天理駅周辺のコンビニなどで予めご用意いただくか、学食をご利用ください。①学食（体育館前）ラパス8月11日・12日 11:30～14:00営業
②ランチョンセミナー（8月11日のみ）ホームページ「ランチョンセミナー」から事前申し込み下さい。

理事会セッションⅠ（戦争と看護シリーズ）：ガザ地区での人道支援を通じての看護師の経験

演者：川瀬佐知子（大阪赤十字病院） 座長：川嶋みどり、川原由佳里（日本赤十字看護大学）

本学会では毎年、学術集会において戦争と看護をテーマとした理事会セッションを開催しています。今年は、大阪赤十字病院看護師の川瀬佐知子氏にご登壇をお願いしました。

川瀬佐知子氏は、パレスチナ自治区ガザ地区北部の第2の中核病院であるパレスチナ赤新月社アルクヅズ病院にて、2022年から遠隔での医療技術支援・指導に携わり、2023年7月からは現地で活動されてきました。10月7日に始まったイスラエルとガザの間での武力衝突により、ガザ南部のラファに移動され、さらに避難所で支援活動を続けられていましたが、安全が確保できなくなったことから11月5日に帰国されました。帰国後、川瀬氏が日本記者クラブで会見し、現地スタッフから届いたメッセージを涙ながらに伝えられたのは記憶に新しいところです。現地を離れることに葛藤があったとしながらも、「現地に残された一人一人の声を伝えることが私の役割」と話し、国際社会からの支援の必要性を訴えられました。

武力衝突が激化し、すでに約半年が経過しました。残念ながら、現地の人道状況は日に日に深刻度を増しており、双方合わせて犠牲者は3万人を超えています。被害は拡大する一方で、特に女性、子ども、高齢者、けがや病気を抱えた民間人にとって大変苦しい状況が続いています。本セッションでは川瀬氏に、実際の活動内容やそこでの看護師としての思いなどについてお話をいただきます。この問題に関心を持ち続け、一人ひとりにできることを考えたいと思います。どうぞご参加ください。

理事会セッションⅡ（研究推進委員会・特別委員会）看護歴史研究を未来につなぐ

演者：鈴木紀子（天理大学） 座長：滝内隆子 岡山寧子 小川典子

研究活動推進委員会・特別委員会では、これまで皆様の研究力の向上を目指し5年間の研修会計画を立案し、「看護教育史」「個人史へのアプローチ」などをテーマとして開催するなどの活動を実施してきました。その結果、コロナによる影響を考慮しても、近年少しずつですが、本学会の学術集会

における研究発表数や投稿論文数は増加傾向にあります。しかし、まだまだ学術雑誌としての日本看護歴史学会誌に掲載される論文件数が少ない状況です。その原因としてデータを論文にすることや歴史研究の手法に基づく論文作成の困難などが考えられます。

そこで、今年度は改めて学会員の皆様の研究能力の向上と学会誌掲載に向けた支援として、天理大学医療学部看護学科基礎看護学領域教授の鈴木紀子先生を講師として「看護歴史研究を未来につなぐ」をテーマとした講演を開催します。また講演後には、教育的支援として学会誌掲載に向けたワークショップなども実施する予定にしております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

日本看護歴史学会総会のお知らせ

令和6年8月11日(日) 16:30~17:45 天理大学 ふるさと会館

*返信用はがきに必要事項を記入の上、7月31日(水)までにご返送ください。

編集委員会からのお知らせ

「日本看護歴史学会誌」は年1回、3月末の発行です。投稿受付は6月1日~6月末です。8月の学術集会で発表を予定されている方は是非、論文投稿をお願いします。投稿された論文は査読とそのやり取りを通じて、できるだけ受理する方針です。紙面の充実を通じて、学会の活性化、看護の歴史研究の発展につなげたいと考えています。

本の紹介

1. 新刊『生命倫理学概論』丸山マサ美編著、大学教育出版会
書籍 “Note on Nursing (1860) Florence Nightingale 復刻版” 丸山マサ美 (洋書)、丸善
2. 『日本看護歴史学会35周年記念誌』日本看護歴史学会編 (¥2000/冊、送料込)



新入会員紹介(敬称略)

*()内は会員番号 2023年9月13日~2024年5月17日入会

吉田 敬子 (23011)	徳岡 慶一 (24001)
原賀 美紀 (24002)	河合 桃代 (24003)
山下菜穂子 (24004)	中澤 明美 (24005)
徳島佐由美 (24006)	佐藤 優子 (24007)
澁谷 幸 (24008)	猪狩 崇 (24009)
前川理恵子 (24010)	笹谷 絵里 (24011)
梶谷 薫 (24012)	原口真由美 (24013)

新規・再入会手続きは本会ホームページ「入会案内」をご参照ください。

編集後記

地球沸騰時代に入ったと言われる昨今。今年の夏を皆様が無事に乗り切れますように。能登半島の復興を願いつつ、地球規模での平和を祈ります。
(黒)

お知らせ

■事務局から

会員動向 (2023年10月31日~2024年5月17日現在)

1. 会員数 281名
(図書館1館、特別会員2名、正会員278名) 他 承認済2名
2. 入会者 14名
3. 退会者 23名 (うち資格喪失者6名)

学会年会費：会計年度毎年4月1日~3月31日

令和6年度会費(6,000円)をまだ納入されていない会員の方はすみやかに納入をお願いいたします。

2年間会費滞納の場合、退会となり会員資格を失いますのでご注意ください。

日本看護歴史学会会報 第82号

企画・編集 黒田裕子 (太成学院大学)
屋宜譜美子 (天理大学)
小田正枝

発行責任者 田中幸子 (理事長)

印刷 株式会社 ソウブン・ドットコム

事務局 〒261-0014
千葉県千葉市美浜区若葉2丁目10番1号
千葉県立保健医療大学
健康科学部看護学科内
事務局 春日広美
E-mail office@jsnh.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>